(バリアフリー法・京都府福祉のまちづくり条例第6章の規定の適用**対象**建築物用) [1/5]

建築物の名称	
建築物の所在地	

精華町やさしいまちづくり整備指針を参考に、黒い太枠内の項目を記載してください。記入欄には具体的な整備内容を記載し、実施・未実施・該当無の欄には必ずどれか1つに〇を入れてください。

#### 1. 廊下等

整值	<b>講項目</b>	整備基準			記入欄		実施	未実施	該当無
表面		粗面、滑りにくい材料仕上げ	仕様	:					
注意喚起		階段又は傾斜路の上端の廊下等に点状ブ ロック等	□有 □無	(識別性	□有	□無)			

#### 2. 階段

李	整備項目	整備基準	記入欄	実施	未実施	該当無
手すり						
表面		粗面、滑りにくい材料仕上げ	仕様:			
段	識別性	色の明度差が大きい等	仕様:			
	構造	つまずきにくい	段鼻の突き出し:□有 □無 蹴込板:□有 □無 蹴込寸法:□2㎝以下 □2㎝超える			
注意喚起	場所	階段の上端の踊場に点状ブロック等	□有(識別性 □有 □無) □無			
主たる階段		回り階段としない	回り階段:口有 口無			

#### 3. 傾斜路

整任	 備項目	整備基準	記入欄	実施	未実施	該当無
傾斜路		勾配>1/12、又は高さ>16cmの傾斜部 分に設置	□有  □無			
	表面	粗面、滑りにくい材料仕上げ	仕様:			
	識別性	色の明度差が大きい等	仕様:			
	注意喚起	傾斜部分の上端の踊場に点状ブロック等	□有(識別性 □有 □無) □無			

#### 4. 便所

整備	<b>请項目</b>	整備基準	記入欄	実施	未実施	該当無
床の表面		滑りにくい材料仕上げ	仕様:			
車椅子使用者用	設置数	1 以上(男女区別あるとき→それぞれ 1	設置数:共用(  )			
便房		以上)	男子(  )  女子(  )			
	便座	腰掛便座	□有  □無			
	手すり	設置	□有  □無			
	広さ	幅又は奥行き 180 cm以上、かつ、内法 面積 3.6 ㎡以上	( ) cm × () cm = ( ) m <sup>2</sup>			
	出入口の幅	85 cm以上	幅( )cm			
	出入口の戸	引き戸(構造上困難→外開き戸)	口引き戸 口外開き戸			
			口その他(  )			
		前後に高低差なし	高低差:□有  □無			
	標識	掲示	□有  □無			
オストメイト対	設置数	1 以上(男女区別あるとき→それぞれ 1	設置数:共用(  )			
応便房		以上)	男子(  )  女子(  )			
	設備	オストメイト対応水栓器具等を適切に配 置	□適  □否			
	標識	掲示	□有  □無			
その他の便房	和式便房を設け	1 以上(男女区別あるとき→それぞれ 1	□有  □無			
	る場合	以上)に手すりを設置				
	洋式便房を設け る場合	1以上(男女区別あるとき→それぞれ1 以上)に手すりを設置	□有  □無			
洗面器等の水栓		レバー式、光感知式等を1以上設置	ロレバー式 口光感知式 口その他 ( )			

(バリアフリー法・京都府福祉のまちづくり条例第6章の規定の適用**対象**建築物用) [2/5]

### 4. 便所

整備	請項目	整備基準	記入欄	実施	未実施	該当無
1以上の小便器を設ける場合		構造	手すり:口有 口無 口床置式 口壁掛式(受け口の高さが 35 cm以下) 口その他( )			
		和式便器、小便器、洗面器又は手洗い器 の足踏み部分	□和式便器 □小便器 □洗面器又は手洗い器 (識別性 □有 □無)			
	ベビーチェア等	11 以上(里女区別のある伸早に設けると	設置場所(設置数): 口車椅子使用者用便房( ) 口男子便所( ) 口女子便所( )			
フ女・士坪		標識を掲示	□有  □無			
子育て支援 設備	ベビーベッド等	1以上	設置場所(設置数): 口車椅子使用者用便房( ) 口男子便所( ) 口女子便所( ) 口その他( )			
		標識を掲示	□有  □無			

#### 5. 敷地内の通路

75X201107 JU	РН					
整侦	<b>備項目</b>	整備基準	記入欄	実施	未実施	該当無
表面		粗面、滑りにくい材料仕上げ	仕様:			
段を設ける場合	手すり	設置	□有  □無			
	識別性	色の明度差が大きい等	仕様:			
	構造		段鼻の突き出し:□有 □無 蹴込板:□有 □無			
			蹴込寸法:□2㎝以下 □2㎝超える			
傾斜路	手すり	勾配>1/12、又は高さ>16 cmかつ勾配 >1/20 の傾斜部分に設置	□有  □無			
	識別性	色の明度差が大きい等	仕様:			

### 6. 駐車場

整備	請項目	整備基準	記入欄	実施	未実施	該当無
設置数 車椅子使用者		・全駐車台数 200 台以下 →全駐車台数×1/50 以上 ・全駐車台数 200 台超 →2+全駐車台数×1/100 以上	全駐車台数( ) 設置数( )			
用駐車施設	幅	350 cm以上	幅( )cm			
	標識	設置	□有  □無			
	位置	2の③又は4の③の経路が短くなるように	□適 □否			

### 7-1 出入口

<u> </u>						
整備	請項目	整備基準	記入欄	実施	未実施	該当無
建築物の出入口		経路を構成する直接地上へ通じる出入口 の 1 以上は主要な出入口とする	□適 □否			
	幅	上記出入口の幅 90 cm以上	幅( )cm			
	戸	自動又は車椅子使用者が容易に開閉して	□自動			
		通過できる構造	□手動 →取っ手:□棒状 □押板 □レバー			
			口その他(			
		回転形式としない	回転形式:口有 口無			
		前後に高低差なし	高低差:口有 口無			
利用居室・特定	幅	80 ㎝以上	幅( )cm			
利用居室の出入	戸	自動又は車椅子使用者が容易に開閉して	□自動			
		通過できる構造	□手動 →取っ手:□棒状 □押板 □レバー			
			口その他(			
		回転形式としない	回転形式:口有 口無			
		前後に高低差なし	高低差:□有  □無			

(バリアフリー法・京都府福祉のまちづくり条例第6章の規定の適用**対象**建築物用) [3/5]

### 7-2 廊下等

整備項目	整備基準			記入欄	実施	未実施	該当無
幅	130 ㎝以上	幅(	) cm				
車椅子転回部分	50m以内毎に設置	□有	口無				
	自動又は車椅子使用者が容易に開閉して 通過できる構造	□適	□否				
	前後に高低差なし	高低差:	□有	□無			

### 7-3 傾斜路

整備基準	記入欄	実施	未実施	該当無
設置	□有 □無			
130 cm以上(階段に併設→90 cm以上)	幅( )cm 口階段に併設			
1/12 以下	勾配( ) 高低差( )cm			
(高低差 16 cm以下→1/8 以下)				
高低差 75 cm以内毎に踏幅 150 cm以上	踏幅( )cm			
両側に側壁又は立ち上がり部を設置	□有 □無			
車椅子が停止可能な平坦部分を設置	□有  □無			
	設置 130 cm以上(階段に併設→90 cm以上) 1/12 以下 (高低差 16 cm以下→1/8 以下) 高低差 75 cm以内毎に踏幅 150 cm以上 両側に側壁又は立ち上がり部を設置	設置	設置 □有 □無 130 cm以上(階段に併設→90 cm以上) 幅 ( ) cm □階段に併設 1/12 以下 勾配 ( ) 高低差 ( ) cm (高低差 16 cm以下→1/8 以下) 高低差 75 cm以内毎に踏幅 150 cm以上 踏幅 ( ) cm 両側に側壁又は立ち上がり部を設置 □有 □無	設置

### 7-4 エレベーター

李	整備項目	整備基準	記入欄	実施	未実施	該当無
停止階		利用居室・特定利用居室、車椅子使用者 用便房、車椅子使用者用駐車施設がある 階及び地上階				
	出入口の幅	80 ㎝以上	幅( )cm			
	奥行き	135 cm以上	奥行き()cm			
	幅※	140 ㎝以上	幅( )cm			
	構造※	車椅子の転回に支障がない構造	□適 □否			
	車椅子使用者用 操作盤	利用しやすい位置に設置 ・戸の開放時間延長 ・かごの位置表示	床面からの高さ ( ) cm ロ戸の開放時間延長 ロかごの位置表示			
		・インターホン	ロインターホン			
かご	操作盤 (上記以外)	点字表示	□有  □無			
	表示装置	停止予定階・現在位置	□停止予定階 □現在位置			
	音声装置	・到着階及び戸の閉鎖・昇降方向(かご又は乗降ロビー)	□到着階 □戸の閉鎖 □昇降方向			
	鏡	設置	□有  □無			
	戸の閉鎖制止装 置	感知式	□有 □無			
	手すり	左右両側に設置	□有 □無			
	高低差	高低差なし	高低差:□有  □無			
	広さ	幅及び奥行き 150 cm以上	幅( )cm 奥行き( )cm			
	車椅子使用者用	利用しやすい位置に設置	床面からの高さ( )cm			
	操作盤	・戸の開放時間延長装置	□戸の開放時間延長			
乗降ロビー	操作盤	・点字表示	点字表示:□有 □無 点状ブロック			
	(上記以外)	・前の床面に点状ブロック等	等:□有(識別性 □有 □無) □無			
	 表示装置	」 昇降方向				
	標識	揭示	□有 □無			

(バリアフリー法・京都府福祉のまちづくり条例第6章の規定の適用<u>対象</u>建築物用) [4/5]

## 7-5 敷地内の通路

整備項目		整備基準	記入欄	実施	未実施	該当無
幅		130 ㎝以上	幅( )cm			
車椅子転回部分	•	50m以内毎に設置	□有 □無			
戸を設ける場合	•	自動又は車椅子使用者が容易に開閉	□適 □否			
		して通過できる構造				
		前後に高低差なし	高低差:口有 口無			
高低差がある場	i合	傾斜路又はエレベーターその他の昇 降	高低差:□有→□傾斜路 □エレベーター			
		機を併設	口その他(   )			
			□無			
傾斜路	手すり	設置	□有  □無			
	幅	130 cm以上 (段に併設→90 cm以上)	幅( )cm □段に併設			
	勾配	1/15 以下	勾配( ) 高低差( )cm			
		(高低差 16 ㎝以下→1/8 以下)				
	踊場	高低差 75 cm以内毎に踏幅 150 cm以上	踏幅( )cm			
	立ち上がり等	両側に側壁又は立ち上がり部を設置	□有  □無			
	起点終点	車椅子が停止可能な平坦部分を設置	□有  □無			

#### 8. 浴室等

· /u = 1						
整備項目		整備基準	記入欄	実施	未実施	該当無
床の表面		滑りにくい材料仕上げ	仕様:			
車椅子使用者対	設置数	1以上(男女区別あるとき→それぞれ1	設置数:共用(  )			
応の浴室等		以上)	男子(  )  女子(  )			
	設備	浴槽、シャワー、手すり等を適切に配置	□適 □否			
	広さ	車椅子使用者の円滑な利用に十分な空間	□適 □否			
	出入口の幅	85 cm以上	幅( )cm			
		自動又は車椅子使用者が容易に開閉して 通過できる構造	□適 □否			
		回転形式としない	回転形式:口有 口無			
		前後に高低差なし	高低差:□有  □無			

#### 9. 客席

整備項目		整備基準	記入欄	実施	未実施	該当無
車椅子使用者対	設置数	全客席数×1/200 以上	全客席数(   )			
応の浴室等		(2未満→2、10超→10)	設置数( )			
	1区画の広さ	幅 85 cm以上、奥行き 120 cm以上	幅( )cm、奥行き( )cm			
	区画の床面	高低差なし	高低差:□有  □無			
	区画への通路	幅 120 cm以上	幅( )cm			
	通路の高低差	傾斜路を設置	高低差:□有→傾斜路:□有 □無			
			口無			

### 10. 室内設備

整備項目	整備基準		記入欄	実施	未実施	該当無
案内板等	エレベーター等、便所又は駐車施設の配	口有				
	置を表示した案内板等	□無	(各施設が容易に視認できる場合)			
	エレベーター等又は便所の配置を示す点	□有	□無			
	字案内板等					
	案内所(上記の代替措置)	□有	□無			

(バリアフリー法・京都府福祉のまちづくり条例第6章の規定の適用**対象**建築物用) [5/5]

#### 11. 車椅子使用者用客室

整備項目		整備基準	記入欄	実施	未実施	該当無
客室設置数			客室総数 ( )			
	,		設置数(  )			
便房等(当該客	便所の床の表面	滑りにくい材料仕上げ	仕様:			
室のある階に同		腰掛便座	□有  □無			
等の便所がある	手すり	設置	□有  □無			
場合は不要)	広さ	車椅子使用者の円滑な利用に十分な空間	( ) cm × ( ) cm			
	便所の出入口の	80 ㎝以上	幅( )cm			
	幅					
	便所の出入口の	自動又は開閉容易	□適 □否			
	戸	前後に高低差なし	高低差:口有 口無			
浴室等(当該建	床の表面	滑りにくい材料仕上げ	仕様:			
築物に同等の浴		浴槽、シャワー、手すり等を適切に配置	□適 □否			
室等がある場合	広さ	車椅子使用者の円滑な利用に十分な空間	□適 □否			
は不要)	出入口の幅	80 ㎝以上	幅( )cm			
	出入口の戸	自動又は開閉容易	□適 □否			
		前後に高低差なし	高低差:□有 □無			

#### ◆整備基準の適合が困難な場合

整備項目	整備基準の適合が困難な理由等	代替措置等
1		

# ◆その他、工夫してバリアフリー化を実施した個所

整備項目	工夫した内容等